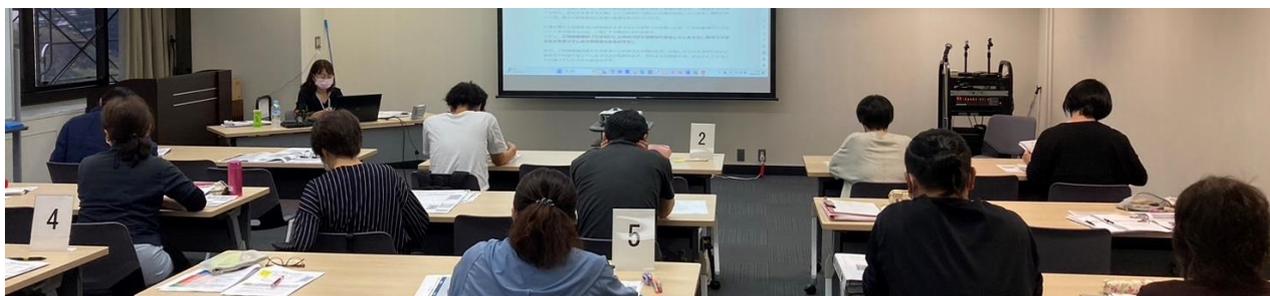


『第2回 施設ケアマネジメント研修』に参加して

報告者：グループホームひより 森川 加奈英



令和6年10月24日富山県民会館にて「第2回施設ケアマネジメント研修」が開催されました。今回は法定研修にも導入されている「適切なケアマネジメント手法」についてということで、ケアプラン作成時にどのように活用していけばよいのかを学びたく参加させていただきました。



講師 茂古沼 江里氏

はじめに講師の富山県介護支援専門員協会役員 茂古沼 江里氏より、「施設における適切なケアマネジメントを使ったアセスメント」というテーマにて講義をいただきました。適切なケアマネジメント手法に関連ある「自立支援介護」を学び、その視点で課題のある方から掘り下げてみることで、自分のアセスメントで抜けている視点が見えてきました。3つの基本方針を忘れず、多様なニーズに対応していく際、アセスメント力、モニタリング力を身に付ける為にも適切なケアマネジメント手法を活用していけたらと思いました。

次にグループワークにて、自己点検を行いそこで気づいたことや改善策について話し合いを行いました。自己点検を行うことで、自分では情報収集出来ていると思っていても不足している所が分かり、他の施設の方の悩みや対応の仕方などの情報交換もでき参考になりました。

今回の研修で学んだことを自施設に持ち帰り、取り組めそうな所から多職種連携で活用していこうと思いました。

